

取組名称	“廃棄を前提にしない”価値循環型設計プロトコル「UP0TECH®」——都市型資源循環モデルと啓発・普及の展開			団体設立後の経過年数	42年目
応募取組主体名称	株式会社ソーイ	活動地域	東京、静岡	応募取組の活動年数	5年目
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への思いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

UP0TECH®は、「廃棄ゼロ」を起点に設計する循環プロトコルです。空港・駅ビル・オフィス等を資源拠点化し、地域内循環によって価値滞留と環境負荷低減を実現します。従来の排出後処理ではなく、設計段階で「捨てる選択肢」を除去する革新的な仕組みです。食品残渣を発酵・資源化することで、Scope3を含むCO₂排出を大幅に削減しながら、飲料・菓子・化粧品など多用途に展開し、教育・普及活動とも連動させています。

実績の要旨

コーヒー残渣を再びカフェラテ等の飲料原料に循環させる閉じた循環モデルを実装し、外資系IT企業オフィスでの導入が3年以上継続しています。Scope3削減を伴う設計として評価され、焼き菓子や化粧品への応用も進展しています。中学・高校・大学での講演や地域イベントを通じて教育普及にも注力しています。現在は鉄道・流通・宿泊施設とのPoCを進め、都市拠点内完結型循環に着手しています。静岡県SDGsビジネスアワード県知事賞を受賞しました。また、UP0TECH®の商標は日本・EU・米国で登録済です。

取組評価の要旨	環境への貢献	設計起点で廃棄を生まず、資源投入とScope3削減を両立します。
	社会・経済への貢献	残渣を飲料等の商品へ価値化し、廃棄費を不要化するとともに新規売上や雇用を創出します。
	地域資源の活用	空港・駅ビル・オフィス等を資源拠点化し、地域内循環によって価値を滞留させ、環境負荷を低減します。
	普及・汎用性	拠点内完結条件下で標準化し、飲料・食品・化粧品・堆肥へ横展開します。
	革新・ユニーク性	排出後処理ではなく、設計段階で「捨てる選択肢」を除去する革新的な仕組みとし、Scope3を含むCO ₂ 削減を実現します。
	継続性	製造・販売・再投入が施設内で循環し、経済合理性と知財活用によって自走します。

展望の要旨

都市型拠点で飲料循環を確立し、連携拡大と国際ライセンスによって波及させます。